

第11回オートモーティブワールド開催

自動車業界における 最新技術が一堂に会す



自動運転、クルマの電子化・電動化、コネクティッド・カー、軽量化など、自動車業界における最新技術が一堂に会する「第11回オートモーティブワールド」が1月16～18日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）にて開催されました。

今年で11回目を迎える同展は、「第11回国際カーエレクトロニクス技術展」、「第10回EV・HEV 駆動システム技術展」、「第9回クルマの軽量化技術展」、「第7回コネクティッド・カー EXPO」、「第5回自動車部品 & 加工EXPO」、「第2回自動運転EXPO」の6展で構成されています。今回は1,002社が出展し、各社が新技術や新素材などをアピールしました。また、期間中は自動運転、EV・HEV技術などの専門技術セミナーが行われ、多くの聴衆を集めました。

各社、着々と進む自動運転に向けて、センサーやカメラ、光学技術、LiDARなどの技術を数多く紹介したほか、走行性能の向上や車体の軽量化につながる技術や素材、製品をアピールしました。

3日間の来場者数は延べ37,657人です。

次回は9月18～20日にポートメッセなごや（愛知県名古屋市）で「第2回名古屋オートモーティブワールド」が、2020年1月15～17日に東京ビッグサイトで「第12回オートモーティブワールド」が開催されます。



アルゴ

16個のレーザー送受信センサーを内蔵し、水平全方位360°、測定距離は約100mのGPS連動型LiDARセンサーなどをアピール



エフテック

インバータ構造を用いたインバーストーションを展示。より廉価であることを念頭に、軽量化と最適剛性チューニング性の拡大を実現



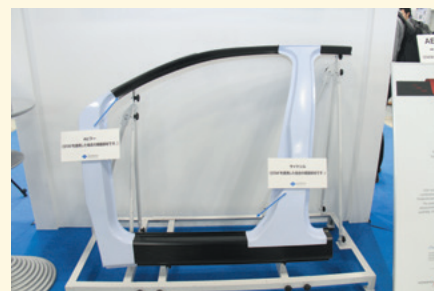
国本工業

1つの鋼管から部品を作るパイプ工法を紹介。これにより溶接と切削なしで部品が作れるため、部品点数の削減や軽量化が図れる



JFEスチール

スポット溶接時に分散してしまう電流をあらかじめ推定し、溶接時の発熱量の最適化を図るJ-MACスポット溶接や、トボロジー最適化された車両を展示



住友重機械工業

鋼管を高圧空気で作熱間成形し、複雑かつフランジ付きの断面を成形できる技術、STAFを紹介。これにより部品点数は1点となり軽量化も図れる

工場ルポ

創業46年。地域に愛される工場の秘密は、確かな技術を持ったスタッフと迅速な仕事

有限会社マイカーボデー有村

代表者：有村則男社長
所在地：鹿児島県日置市吹上町今田275

有村則男社長



現代の名工とその技術を学ぶ スタッフたちによる最高品質

薩摩半島の中央部に位置し、鹿児島市のベッドタウンとして栄える日置市にマイカーボデー有村があります。現社長の有村則男氏は1973年にカーディーラーの工場で7年間の修業を経て、マイカーボデー有村を創業しました。その後、1978年に法人化し、2005年に認証工場認可を取得しました。そして2009年、有村社長はそれまでの功績が評価され、厚生労働省から「現代の名工」として表彰を受け、2010年には「黄綬褒章」を受章しました。「受章後、多くの方々が修理をお願いしてくれるようになりました」と有村社長は語ります。

現在、スタッフは事務2人・板金3人・塗装3人・フロント2人・整備2人の12人体制で日々の業務に臨んでいます。また、スタッフの多くが自動車整備士の資格を取得しているほか、車体整備士なども有しており、入庫してきた車に即座に対応するようにしています。「ケガや病気をした際に医者に看てもらうように、車もしっかりと資格を持った人に見てもらったほうがカーオーナーも安心してもらえると思い、スタッフには可能な限り資格の取得を促しています」。

また、同社にはトラックの架装や農機具のエンジン・足回りの修理、外部設置の配電盤の塗装など、車だけでなく様々な依頼が来ます。それらを可能な限り直してきた

実績と信頼、そしてこれまでの安心と品質の積み重ねが同社の強みとなり、近隣からの信頼は厚いものとなっています。月間の入庫台数は、車体修理が月75台、車検・整備が月25台ほどとなっています。

ユーザーに寄り添った提案と 今後の目標

「最近では保険会社の方からもリサイクルパーツを使ってほしいと要望があるため、頻繁に利用しています」と話す有村社長。自費修理の際も、少しでもカーオーナーの負担が軽減できるようにNGPのリサイクルパーツを提案しています。「NGPリサイクルパーツは梱包もていねいで、実物の写真なども確認できるため、お客様への提案も安心してできます」。また、「リサイクルパーツの需要はますます伸びてくると思います。これからも最適な提案の一つとして活用していきたいと思います」と大きな期待を寄せています。

有村社長は「自動車が進化している中で、それを直す人間も進化していかないといけない」という考えから、引き続きスタッフには様々な講習や資格の取得を推進していくそうです。

安心と信頼を築き上げてきた同社はそれらを土台にさらなる進化を遂げ、スタッフ一丸となって地域一番店を目指していきます。



工場外観



有村社長は長年の功績が認められ「黄綬褒章」を受章



様々な車種の修理に対応

人口減少などの社会環境の変化を受けた、自動車市場の今後を予測

日本自動車販売協会連合会はこのほど、「乗用車ディーラービジョン (2018年版)」を発行しました。

同書は自動車販売業における市場の見通しや、社会環境の変化によるディーラー経営への影響についての考察などをまとめたものです。その中から、市場動向及び今後の見通しについて紹介します。

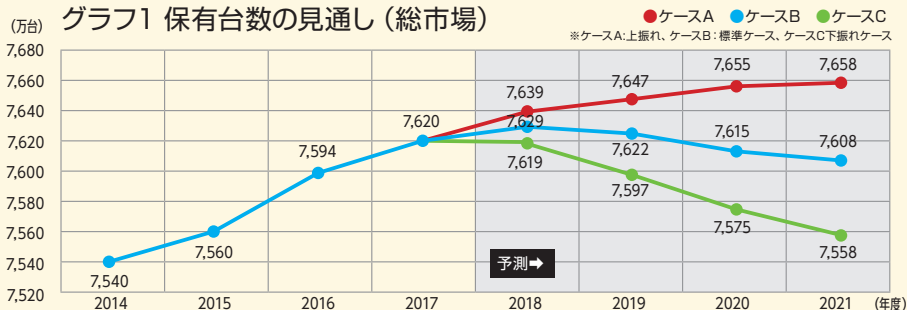
2017年度の新車販売市場は、軽自動車の販売回復などを要因として、対前年度比102.3%の520万台と堅調に推移しました。現代文化研究所のインターネット調査によると、現在保有する車を新車購入する際に重視した点について、2017～18年度に購入したユーザーでは「安全装備の充実」を重視する傾向が強まっていました。また年齢が高まるほど、購入車に対する安全性を重視する傾向にありました。

今後、電動化や先進安全装備車の普及拡大に伴う新機能車の投入が、新車販売へのプラス要因として期待されます。しかし一方で中・長期的には少子高齢化が一層進み、経済成長力の鈍化、財政面の制約による社会保障負担増加が見込まれるなど、需要水準の低下などが懸念されます。さらに、保有期間長期化による代替サイクルの長期化、需要の発生拡散も、新車販売台数減少の一因となります。

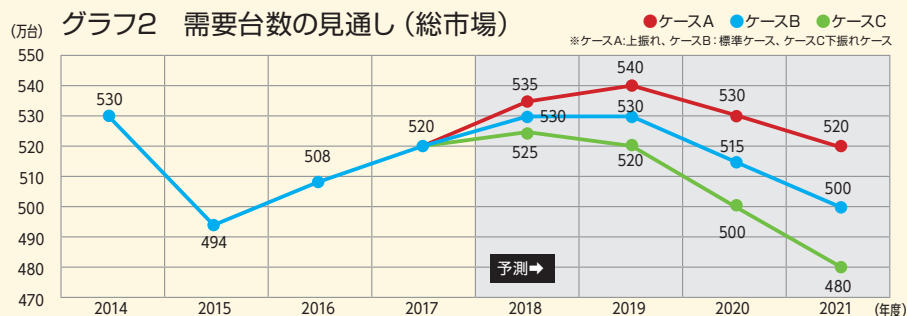
これらの市場環境を踏まえて推計された、需要台数及び保有台数の見通しはグラフの通りです。

短期の見通しの標準ケースでは、保有台数(グラフ1)で2019年度から、需要台数(グラフ2)で2020年度から減少に転じると予想されました。さらに長期における見通しでは、2035年度に保有台数(グラフ3)が2017年度比13%減となる6,623万台に、需要台数(グラフ4)は同26%減となる385万台に縮小するとの見通しが示されています。なお、軽自動車が占める割合は保有・需要台数ともに高まると予想されています。

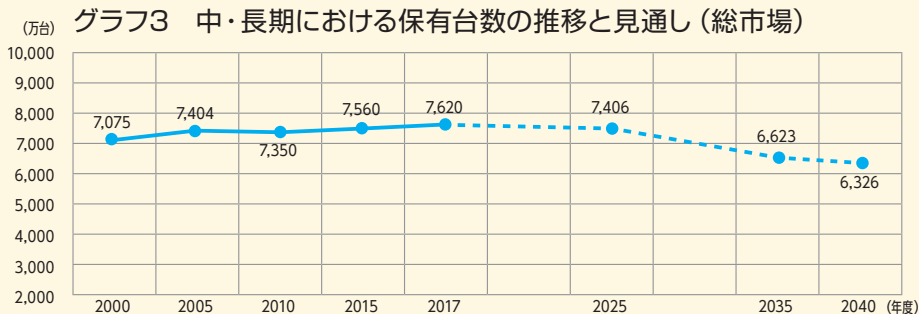
グラフ1 保有台数の見通し(総市場)



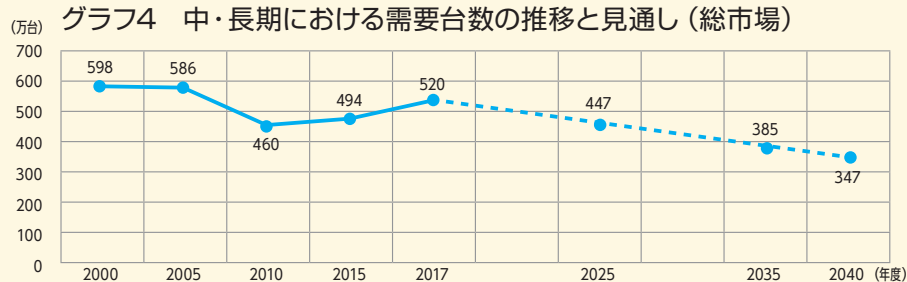
グラフ2 需要台数の見通し(総市場)



グラフ3 中・長期における保有台数の推移と見通し(総市場)



グラフ4 中・長期における需要台数の推移と見通し(総市場)



NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

平成30年12月: **2,497t**

※自動車リサイクル部品産業共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目(左右ある部品を含む115品目)を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

平成30年12月: **1.4t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

老若男女幅広い層に向けて、自動車の楽しさ・魅力を訴求

カスタムカー及び関連製品の展示会「東京オートサロン2019」が1月11～13日の3日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催されました。

カーメーカーによる新型車やカスタムモデル、モータースポーツ競技車両などの展示をはじめとして、会場内には前回（880

台）を上回る906台の車両が集まりました。また車両展示だけではなく、同乗試乗会やステージイベントなど多様な催しを用意することで、自動車の魅力をより幅広い層に向けてPRしています。来場者数は3日間合計で330,666人（前回は103.6%）となり、過去最多の動員を記録しました。

NGP組合員
かわら版NGP理事・役員、明治神宮を参拝
業界全体の発展を祈願

佐藤幸雄理事長をはじめとしたNGP協同組合理事及び(株)NGP役員は1月26日、明治神宮（東京都渋谷区）に参拝し、毎年恒例の新年祈願を行いました。

佐藤理事長は参拝後、「自動車リサイクル業界の発展を目指し、一般ユーザーに向けた各種取り組みを強化していきます。自動車リサイクル部品は、まだ

まだ認知度が低いのが現状です。近年、環境問題に対する社会的意識の高まりを受けて、行政においてもリサイクル率上昇に向けた取り組みを強化する動きが見られています。それらを追い風として、私たちが一般ユーザーにリサイクルの大切さを伝え、安心安全なリサイクル部品の品質を示していきます。また廃車王の



PRを継続するとともに、リサイクル部品の生産工程や使用済み自動車の適正処理の仕組みなどについても紹介し、リサイクル部品及び業界の認知度向上に取り組んで参ります」と、新年の抱負を話しています。

【最終回】プレゼントクイズ

クイズに正解した方の中から、抽選で3名様にクオカード1万円分をプレゼント！

プレゼントクイズは今回で最終回となります。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

Q. これは、
どの車種の一部？



■NGPニュース
No.333（2018
年12月号）プレ
ゼントクイズの正
解はスズキのイク
ニスでした。北海
道、岐阜県、山口
県在住の方3名様
に1万円相当のク
オカードをお送り
します。

下記の応募用紙に解答と必要事項を記入して、FAXにて「プレゼントクイズ」係までお送りください。
ご応募の締め切りは3月25日到着分までとさせていただきます。
正解はNGPニュース2019年4月号にて発表いたします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

「プレゼントクイズ」係 応募用FAX番号 03-5475-1209

解答	お名前	職業	電話番号	年齢	性別
				歳	男・女
住所：〒					
NGPニュースで取り上げてほしいテーマ：					

※ご記入いただいた内容は賞品の抽選・通知・発送のほか、今後の本サービスの参考とするためにのみ使用させていただきます。

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
南関東	株式会社ユーアンドアイ	移転	〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2831-1 2F TEL046-200-2301 FAX046-262-2320	30年12月28日
東北	株式会社西武オートパーツ	会社代表	代表取締役 佐々木 謙次	31年1月1日

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp/